

感染症発生動向調査情報(週報)

2014年30週(07月21日～07月27日)

山梨県内流行情報

先週、ヘルパンギーナの県全体の報告数が警報レベル基準値の6.0を超えたため、警報レベルに入りました。今週は、各地域において先週より報告数が若干減りましたが、県全体の報告数は7.58と依然として多く、警報レベルの流行が継続しています。また、咽頭結膜熱も、先週、中北保健所管内において警報レベルの基準値である3.0を超えたため、警報レベルに入りました。今週の中北保健所管内の報告数は1.5と減少しましたが、終息基準値の1.0をまだ上回っているため、同地域においては警報レベルが継続しています。ヘルパンギーナと咽頭結膜熱は、手足口病とともに夏季に流向しやすい感染症ですので、うがいや手洗いを励行するとともに、プールに入る前後はシャワーでよく洗い、タオルの共用を避けるなどして、感染予防に努めましょう。また、発熱等の症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。【今週の警報】ヘルパンギーナ(県全体) / 咽頭結膜熱(中北保健所管内) 【今週の注意報】なし

富士・東部管内流行情報

管内の定点あたりのヘルパンギーナ報告数は12.6と県内で最も高い値となっております。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	126	0.03	370	0.12	1868	0.59	3604	1.14	10092	3.21	2171	0.69
山梨県	-	-	-	-	17	0.71	20	0.83	56	2.33	11	0.46
中北	-	-	-	-	12	1.5	5	0.63	27	3.38	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	4	0.8	14	2.8	2	0.4
峡東	-	-	-	-	4	1	7	1.75	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	4	0.8	11	2.2	6	1.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3508	1.11	753	0.24	1830	0.58	56	0.02	12979	4.12	1059	0.34
山梨県	20	0.83	1	0.04	3	0.13	-	-	182	7.58	4	0.17
中北	5	0.63	-	-	1	0.13	-	-	66	8.25	1	0.13
中北峡北	3	0.6	-	-	2	0.4	-	-	29	5.8	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	24	6	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	11	2.2	1	0.2	-	-	-	-	63	12.6	3	0.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	9	0.01	416	0.61	12	0.03	13	0.03	99	0.21	4	0.01
山梨県	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	30週		29週		28週		27週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	減少しています	流行しています	0.71	17	1.42	34	1.13	27	0.67	16
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	平年並みです	0.83	20	1.17	28	1.42	34	1.04	25
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.33	56	2.83	68	3.38	81	3.83	92
水痘	横ばいです	平年並みです	0.46	11	0.38	9	0.75	18	0.83	20
手足口病	やや減少しています	平年並みです	0.83	20	1.13	27	0.79	19	0.46	11
伝染性紅斑	-	-	0.04	1	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.13	3	0.17	4	0.38	9	0.54	13
百日咳	-	-	-	-	0.04	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	減少しています	たいへん流行しています	7.58	182	8.63	207	5.21	125	2.42	58
流行性耳下腺炎	-	-	0.17	4	-	-	0.13	3	0.17	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	0.11	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	たいへん流行しています	1.11	10	0.67	6	0.22	2	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	0.1	1	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	40
二類感染症	結核	富士・東部	男	74
二類感染症	結核	中北	男	81
二類感染症	結核	中北	男	86
二類感染症	結核	富士・東部	女	80